

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 24 日 (2012.5.24)

【公表番号】特表 2011-518928 (P2011-518928A)

【公表日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2011-026

【出願番号】特願 2011-506640 (P2011-506640)

【国際特許分類】

C 08 L 61/04 (2006.01)

C 08 K 5/357 (2006.01)

C 08 K 5/3435 (2006.01)

【F I】

C 08 L 61/04

C 08 K 5/357

C 08 K 5/3435

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 29 日 (2012.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

混合物 (A) は、構造 (A 2) の化合物であってその内 $m = \underline{o}$ である化合物 (A 2 u) 及び / 又は構造 (A 2) の化合物であってその内 $m = \underline{o}$ である化合物 (A 2 g) を有する、請求項 1 又は 2 に記載のポリマー組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明によるポリマー組成物の有利な 1 実施態様において、このポリマー組成物は、1 種以上の構造 (A 2) の化合物 100 質量%を含む混合物 (A) を有し、この際、 m 及び o は有利に 0 又は 1 である。殊にこのポリマー組成物は、構造フラグメント A としてフェニレン基を有する構造 (A 2) の化合物、例えば、1, 3 フェニレンビスオキサゾリン又は 1, 4 フェニレンビスオキサゾリンを有する。本発明によるポリマー組成物は、構造 (A 2) の化合物内で $m = \underline{o}$ の化合物 (A 2 u) 及び / 又は構造 (A 2) の化合物内で $m = \underline{o}$ の化合物 (A 2 g) を有する混合物 (A) を有することができる。即ち、本発明によるポリマー組成物は、例えば、化合物内で $m = 1$ 及び $o = 0$ の化合物 (A 2 g) だけを有する混合物 (A) を有することができる。前記の構造 (A 2) の化合物の例は、1, 3 フェニレンビスオキサゾリン及び 1, 4 フェニレンビスオキサゾリンである。